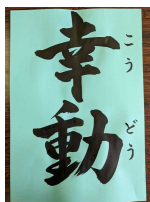


# 伊形っ子



令和6年度学校だより 1月号  
1月14日発行  
延岡市立伊形小学校 No19  
文責：校長 甲斐 憲一

## 新年明けまして おめでとうございます！

2025年、明けましておめでとうございます。今年は巳年ということで、ヘビは脱皮を繰り返すので「新たな自分に生まれ変わる」という意味を持ち、巳年は再スタートや変化のチャンスに恵まれる年とされています。世界でもアメリカでは大統領も再びトランプ氏に代わりますし、全世界で大きな変化が起こるのではないかと  
思っているところです。そんな状況ですが、子どもたちはいつも通り、寒い朝でしたが元気よく登校してきました。「おはようございます」、「明けましておめでとうございます」とあいさつもしてくれました。冬休みも大きな事故等もなく、1月7日にみんな元気に登校してくれたのでとても良かったです。保護者・地域の皆様、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

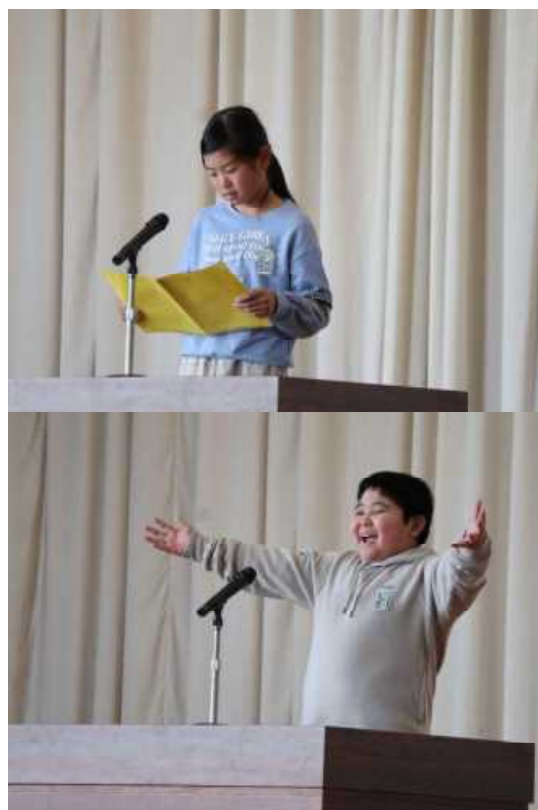


【元気の登校する児童と松子さん】

## 3学期始業式！

冬休みもあっという間に終わり、1月7日(火)は3学期の始業式でした。まず始めに3年生の「りさ」と6年生の「いつき」くんが3学期に頑張りたいことを発表しました。「りさ」さんは3学期に国語の文章問題をしっかり読み取ること、外国語を話すこと、我慢強く頑張ることの3つの目標を掲げ、意識して頑張りたいと発表しました。6年生の「いつき」くんは英語も交えながら発表を行い、中学校へ向けて「中学校大作戦」と題して、集中力UP、コミュニケーションUP、幸動を心がけるとい  
う3つの目標で頑張りたいということを発表しました。二人とも堂々としていて、とてもすばらしかったです。

私からはいつものように「幸動」について、旭化成の5年ぶりの駅伝日本一を例に挙げて話をしました。選手一人一人がチームのために日々練習をはじめ、いろいろなことに気を配りながら努力し、そして優勝を獲得することができたことも「幸動」であるという話をしました。私が子どもの頃には九州一周駅伝もあり、国道10号線沿いで旭化成の選手の応援をしたこともあり、その影響で私は小中学校時代、持久走の練習に励み、よく北川の堤防を走っていた記憶があります。地元の企業の活躍は子どもたちにスポーツの良さを  
感じさせるとともに地元を誇りに思う気持ちを育てると思います。このような活躍を通して、これからも「幸動」を意識してもらい、素晴らしい伊形小学校にしていってほしいと思います。



【堂々と意見発表をする二人】